

感染症発生動向調査事業  
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。  
なお、今週は下記の内容を含んでいます。

記

1. 今週の県内情報
2. 注目すべき疾患 - 腸管出血性大腸菌感染症 -
3. 今週の注目される定点把握対象疾患の推移（グラフ）
4. 今週の全数把握対象疾患の報告数、累計
5. 今週の定点把握対象疾患の報告患者数、定点当たり報告数
6. 全国及び関東情報
7. Saitama Infectious Agents Surveillance Report  
Topics（急性脳炎・無菌性髄膜炎）
8. 今週の流行状況

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当  
電話 0493 - 59 - 9325  
FAX 0493 - 59 - 9613  
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

## 感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成 29 年 第 38 週（平成 29 年 9 月 18 日～平成 29 年 9 月 24 日）

## 今週の注目される疾患

図は 次ページを参照

全数把握対象疾患では、一類及び二類（結核を除く）感染症の届出はなかった。三類感染症は、腸管出血性大腸菌感染症 5 人の届出があった（図 1）。四類感染症は、レジオネラ症 5 人の届出があった。五類感染症は、アメーバ赤痢 2 人、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 人、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 人、後天性免疫不全症候群 2 人、侵襲性肺炎球菌感染症 1 人、梅毒 6 人、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2 人の届出があった。

定点把握対象疾患では、RSウイルス感染症（2.78 2.11：図 2）の定点当たり報告数は大きく減少したが、依然高い水準である。保健所別では、幸手（4.89）、本庄（4.00）保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、1 歳以下で全体の 70.0%を占めている。手足口病（8.05 5.24：図 3）の定点当たり報告数は前週より減少したが、今しばらくは注意が必要である。保健所別では、川口（8.88）、朝霞（7.71）、草加（7.08）保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告対象疾患では、流行性角結膜炎（1.78 1.60：図 4）の定点当たり報告数は前週と同様、高い水準となっている。保健所別では、熊谷（12.50 13.50）保健所管内で多い状況が続いている。年齢階級別では、8 歳及び 9 歳を除いた全ての階級から報告があった。基幹定点報告対象疾患では、細菌性髄膜炎 1 人、無菌性髄膜炎 1 人、マイコプラズマ肺炎 3 人、インフルエンザ（入院）1 人の報告があった。

## &lt;全数把握対象疾患の患者情報&gt;

一類感染症 報告なし

二類感染症 報告なし（結核を除く）

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 5 人（類型 患者 4 人、無症状病原体保有者 1 人、血清型 O157 5 人）

四類感染症 レジオネラ症 5 人（病型 肺炎型 5 人）

五類感染症 アメーバ赤痢 2 人（病型 腸管アメーバ症 1 人、腸管及び腸管外アメーバ症 1 人）

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 人（菌種 *Klebsiella* sp.）

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 人（血清群 G 群）

後天性免疫不全症候群 2 人（病型 AIDS 1 人、無症状病原体保有者 1 人）

侵襲性肺炎球菌感染症 1 人

梅毒 6 人（病型 早期顕症 期 2 人、無症状病原体保有者 4 人）

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2 人（菌種名 *Enterococcus faecium* 2 人）

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

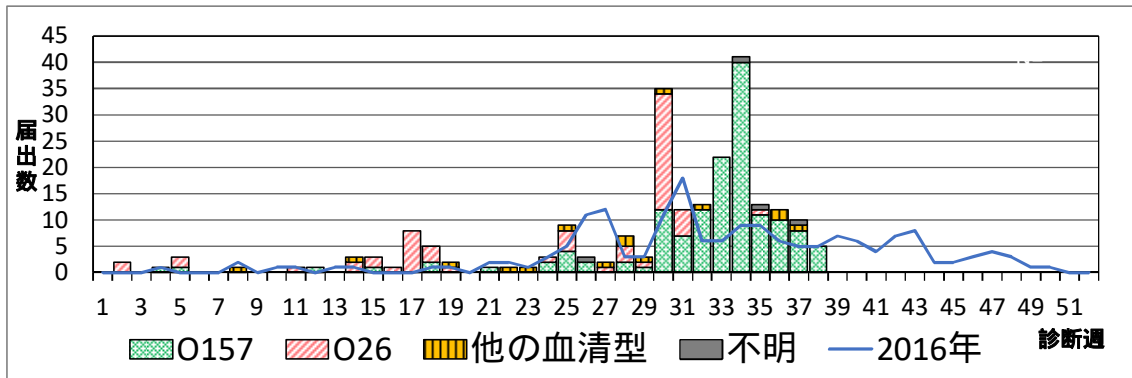
衛生研究所 感染症情報担当者会議（感染症疫学情報担当） TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: [p5349952@pref.saitama.lg.jp](mailto:p5349952@pref.saitama.lg.jp) URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ（URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>）で御覧になれます。

## <今週の注目される全数把握対象疾患 - 腸管出血性大腸菌感染症 - >

第38週は0157 5人の報告があった。0157は第34週(8月21日~27日)をピークに減少の傾向にあるが、今しばらく注意したい。

図1 腸管出血性大腸菌感染症 血清型別



## <今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2 RSウイルス感染症

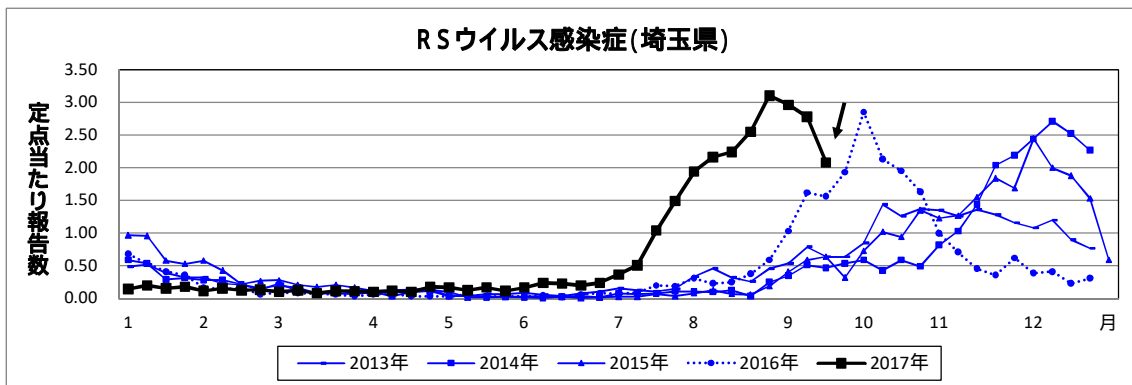


図3 手足口病

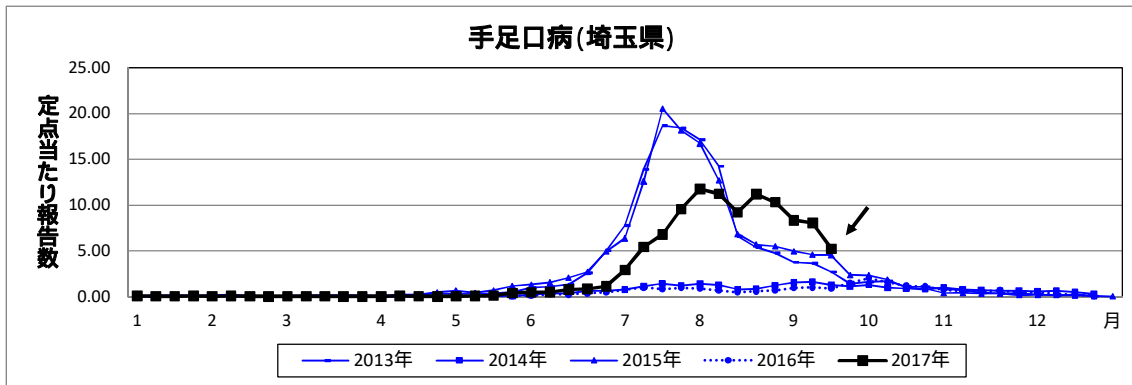
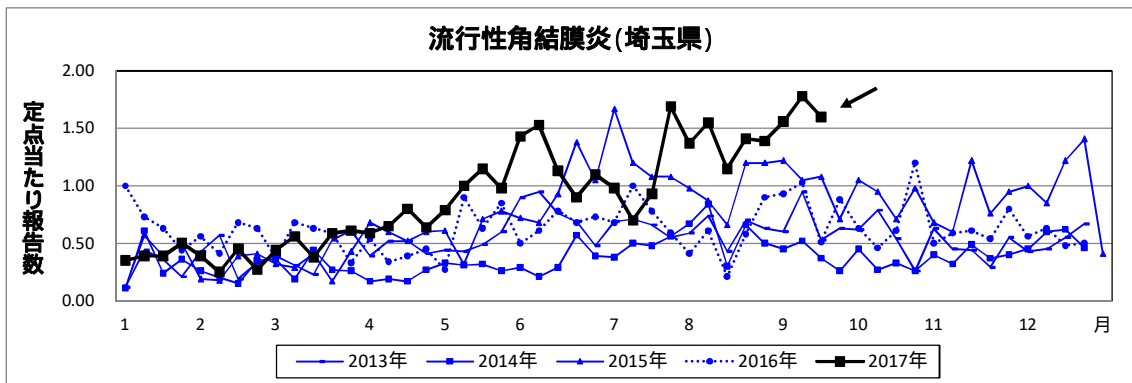


図4 流行性角結膜炎



感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第38週)

(2017年9月26日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
<b>一類感染症</b>					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
<b>二類感染症</b>					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
<b>三類感染症</b>					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢		5	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	5	224			
<b>四類感染症</b>					
E型肝炎		15	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		12	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病			ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサナル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兎病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	5	72
つつが虫病			レプトスピラ症		2
デング熱		9	ロッキー山紅斑熱		
<b>五類感染症</b>					
アメーバ赤痢	2	39	侵襲性肺炎球菌感染症	1	95
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		8	水痘*		12
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	44	先天性風しん症候群		
急性脳炎		34	梅毒	6	161
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症		2
クロイツフェルト・ヤコブ病		4	破傷風		2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	16	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群	2	27	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2	9
ジアルジア症			風しん		5
侵襲性インフルエンザ菌感染症		13	麻しん		4
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		7
<b>指定感染症</b>	該当疾患は無し				

水痘\* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	5	3		

累計は診断日で集計

\* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生動向調査 週情報 保健所別 (第38週 平成29年9月18日～平成29年9月24日)

保健所	インフルエンザ # 1		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		咽頭炎		咽A群溶血性レンサ球菌		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎 # 2		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 # 3		感染症(口炎)		感染症(胃腸炎)		インフルエンザ(入院)													
	報告数	報告あたり	報告数	報告あたり	報告数	報告あたり	報告数	報告あたり	報告数	報告あたり	報告数	報告あたり	報告数	報告あたり	報告数	報告あたり	報告数	報告あたり	報告数	報告あたり	報告数	報告あたり	報告数	報告あたり	報告数	報告あたり	報告数	報告あたり	報告数	報告あたり	報告数	報告あたり	報告数	報告あたり	報告数	報告あたり	報告数	報告あたり												
全	35	0.14	337	0.14	86	0.54	257	1.61	461	2.88	41	0.26	839	5.24	6	0.04	72	0.45	160	1.00	38	0.24	-	-	64	1.60	1	0.10	1	0.10	3	0.30	-	-	-	-	-	1	0.10											
川口	7	0.27	49	0.27	30	1.76	67	3.94	95	5.59	8	0.47	151	8.88	2	0.12	12	0.71	37	2.18	3	0.18	-	-	12	2.40	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*										
朝霞	3	0.15	26	0.15	8	3.6	36	5.0	50	6.94	6	0.88	108	7.71	-	-	4	0.29	19	1.36	9	0.64	-	-	5	1.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
鴻巣	3	0.16	26	0.16	3	2.57	7	2.57	14	3.57	3	0.43	52	7.71	1	0.08	5	0.42	-	-	7	0.58	-	-	2	0.67	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*						
東松山	1	0.13	7	0.13	3	1.2	12	1.6	16	2.13	6	0.8	17	2.43	-	-	3	0.60	2	0.40	1	0.20	-	-	4	4.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
秩父	-	-	3	1.00	2	0.67	1	0.33	1	0.33	-	-	5	1.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
本庄	1	0.14	16	0.14	1	4.00	4	4.00	2	2.00	3	1.50	6	3.00	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
熊谷	2	0.14	26	0.14	1	13.00	13	13.00	43	43.00	1	0.34	34	34.00	-	-	2	0.22	5	0.56	4	0.44	-	-	27	13.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
加須	6	0.60	18	0.60	1	4.00	4	4.00	-	-	-	-	19	3.17	-	-	1	0.17	5	0.83	1	0.17	-	-	5	2.00	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
春日部	-	-	3	1.00	2	1.50	2	1.50	15	7.50	-	-	33	33.00	-	-	6	0.60	10	1.67	6	0.8	-	-	2	2.00	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
幸手	1	0.07	44	0.07	3	7.33	7	7.33	14	14.00	1	0.23	23	23.00	-	-	2	0.22	7	0.78	1	0.11	-	-	7	1.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
坂戸	-	-	4	1.33	1	8.00	8	8.00	16	16.00	1	0.17	17	17.00	-	-	1	0.17	1	0.17	2	0.33	-	-	2	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
草加	-	-	24	0.8	8	12.00	12	12.00	24	24.00	2	0.85	85	85.00	-	-	6	0.60	8	1.33	6	0.8	-	-	8	2.00	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
狭山	2	0.08	27	0.08	7	18.00	18	18.00	41	41.00	3	0.63	63	63.00	-	-	5	0.50	15	0.94	2	0.13	-	-	8	1.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川越市	3	0.23	11	0.23	4	10.00	10	10.00	20	20.00	2	0.38	38	38.00	-	-	1	0.13	4	0.67	1	0.13	-	-	4	1.00	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	
越谷市	-	-	5	1.67	4	12.00	4	12.00	5	5.00	1	0.41	41	41.00	1	0.13	7	0.88	4	0.50	4	0.50	-	-	4	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
さいたま市	6	0.15	48	0.15	8	25.00	8	25.00	105	105.00	4	0.16	147	147.00	1	0.04	17	0.68	43	1.72	6	0.24	-	-	6	1.50	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(一 : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く #2 真菌性を含む #3 オウム病を除く 9月 26日 13:00集計

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第38週 平成29年9月18日～平成29年9月24日)

	年齢別																					
	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～	
インフルエンザ #1	35	1	1	3	2	-	-	7	1	4	3	3	1	1	1	2	2	-	2	2	1	-
RSウイルス感染症	337	49	74	113	54	24	15	5	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	86	1	3	14	11	12	15	11	10	5	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	257	-	-	6	12	22	30	40	42	23	27	13	27	4	11	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	461	7	30	54	51	35	40	44	29	17	36	28	44	10	36	-	-	-	-	-	-	-
水痘	41	-	3	2	1	5	7	3	8	5	2	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	839	7	68	208	141	132	110	66	36	17	10	12	18	-	14	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	6	-	-	-	-	-	1	2	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	72	-	18	44	7	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	160	1	16	36	32	20	16	16	11	4	3	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	38	-	-	1	2	6	2	6	5	5	4	2	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	64	1	2	2	1	2	4	6	1	1	-	-	1	2	5	21	4	1	8	2	-	-
細菌性髄膜炎 #2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	3	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報 第 36週

( 9月4日～9月10日 )

平成29年9月27日

インフルエンザの定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は沖縄県(3.83)、島根県(0.97)、大分県(0.86)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は16例と前週と比較して減少し、11県から報告があった。

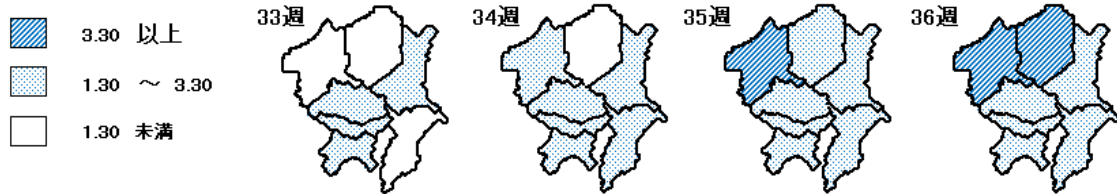
RSウイルス感染症の報告数は10,123例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約69%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は鹿児島県(1.91)、佐賀県(1.26)、宮崎県(1.22)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(4.00)、山形県(3.07)、福岡県(2.40)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は大分県(7.58)、宮崎県(6.22)、愛媛県(5.76)である。水痘の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は山梨県(0.54)、奈良県(0.47)、宮崎県(0.44)である。手足口病の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は福島県(12.26)、宮城県(10.34)、長野県(9.50)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は山形県(0.60)、岩手県(0.30)、福島県(0.17)、神奈川県(0.17)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(1.76)、大分県(1.31)、岩手県(1.30)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は秋田県(1.75)、岐阜県(1.40)、群馬県(0.75)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で増加した。6道県から8例報告があり、年齢別では1～4歳(3例)、5～9歳(4例)、10代(1例)であった。

## <関東情報>

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は、栃木県(3.85)、群馬県(3.45)からの報告が多い。

### RSウイルス感染症



		平成29年 36週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	899	259	27	18	1	55	37	71	50
	定点当たり	0.18	0.17	0.23	0.24	0.01	0.22	0.17	0.17	0.15
RSウイルス感染症	報告数	10,123	2,516	197	185	200	482	248	786	418
	定点当たり	3.21	2.65	2.63	3.85	3.45	2.96	1.85	3.05	1.97
咽頭結膜熱	報告数	1,602	397	30	14	35	84	66	114	54
	定点当たり	0.51	0.42	0.40	0.29	0.60	0.52	0.49	0.44	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	4,580	1,479	97	33	83	268	260	359	379
	定点当たり	1.45	1.56	1.29	0.69	1.43	1.64	1.94	1.39	1.79
感染性胃腸炎	報告数	10,475	3,041	216	62	169	623	382	906	683
	定点当たり	3.32	3.21	2.88	1.29	2.91	3.82	2.85	3.51	3.22
水痘	報告数	616	165	14	11	8	31	16	51	34
	定点当たり	0.20	0.17	0.19	0.23	0.14	0.19	0.12	0.20	0.16
手足口病	報告数	13,166	6,163	595	396	191	1,362	759	1,560	1,300
	定点当たり	4.17	6.50	7.93	8.25	3.29	8.36	5.66	6.05	6.13
伝染性紅斑	報告数	193	87	-	1	8	13	11	17	37
	定点当たり	0.06	0.09	-	0.02	0.14	0.08	0.08	0.07	0.17
突発性発しん	報告数	1,526	524	22	24	35	83	66	155	139
	定点当たり	0.48	0.55	0.29	0.50	0.60	0.51	0.49	0.60	0.66
百日咳	報告数	32	6	-	-	-	2	1	3	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.01	0.01	0.01	-
ヘルパンギーナ	報告数	3,346	1,471	112	32	100	302	305	339	281
	定点当たり	1.06	1.55	1.49	0.67	1.72	1.85	2.28	1.31	1.33
流行性耳下腺炎	報告数	1,165	215	9	13	19	26	37	56	55
	定点当たり	0.37	0.23	0.12	0.27	0.33	0.16	0.28	0.22	0.26
急性出血性結膜炎	報告数	14	3	-	-	-	2	-	1	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	0.05	-	0.03	-
流行性角結膜炎	報告数	684	264	24	12	11	64	34	33	86
	定点当たり	0.98	1.28	1.41	1.00	0.79	1.56	0.97	0.87	1.72
細菌性髄膜炎 #2	報告数	9	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	37	6	-	1	-	1	2	1	1
	定点当たり	0.08	0.07	-	0.14	-	0.10	0.22	0.04	0.09
マイコプラズマ肺炎	報告数	129	21	5	3	6	2	2	2	1
	定点当たり	0.27	0.25	0.38	0.43	0.75	0.20	0.22	0.08	0.09
クラミジア肺炎 #3	報告数	7	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	8	2	-	-	2	-	-	-	-
	定点当たり	0.02	0.02	-	-	0.25	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

## 急性脳炎・無菌性髄膜炎

急性脳炎（5類全数報告）無菌性髄膜炎（5類定点報告）は、主としてウイルスによって引き起こされる臨床上重要な疾患です。埼玉県衛生研究所では、医療機関から報告され検体が提供されたこれらの疾患患者の咽頭拭い液、髄液、便等の検体から、症状などを考慮し種々のウイルス病原体検索を行っています。当所における2014年1月から2017年8月までのウイルス検出状況を下表に示しました。この期間に特定のウイルスの流行は認められず、ヒトヘルペスウイルス6などのヘルペスウイルス科、コクサッキーウイルス、エコーウイルスなどのエンテロウイルスやパレコウイルスを中心に様々なウイルスが検出されました。また、直近の2017年8月に、無菌性髄膜炎1症例からエンテロウイルス(EV)71が検出されました。EV71は、手足口病の原因ウイルスとして知られていますが、中枢神経系合併症の発生率が他のウイルスより高いとされ、注目すべきウイルスです。

急性脳炎、無菌性髄膜炎と診断・報告された場合には、原因ウイルス把握のため、検体採取にご協力くださいますようお願い申し上げます。

表 急性脳炎及び無菌性髄膜炎患者からのウイルス検出状況(症例数)  
(2014年1月～2017年8月 埼玉県衛生研究所)

年	急性脳炎				無菌性髄膜炎			
	2014	2015	2016	2017	2014	2015	2016	2017
患者報告数*	21	24	26	15	-	-	-	-
検査症例数	15	16	15	15	9	12	19	13
検出症例数	5	6	9	7	5	6	12	7
検出ウイルス								
インフルエンザウイルスA型				1				
インフルエンザウイルスAH1pdm09			2					
インフルエンザウイルスB型			2					
RSウイルス	1	2						
ムンプスウイルス				1			3	
単純ヘルペスウイルス1型		1						1
ヒトヘルペスウイルス6	2		1					
ヒトヘルペスウイルス7			1	2				1
水痘帯状疱疹ウイルス			1			1		1
サイトメガロウイルス							1	
EBウイルス			1	1			1	2
コクサッキーウイルスA4			2					
コクサッキーウイルスA16		1						
コクサッキーウイルスB2							1	
コクサッキーウイルスB3					2		1	
コクサッキーウイルスB5					1		1	
エコーウイルス3								1
エコーウイルス6						1	5	
エコーウイルス9						1		
エコーウイルス11					1			
エコーウイルス18						2		
エコーウイルス30						1		
エンテロウイルス71								1
エンテロウイルスnot typed					1		2	
パレコウイルス3型	1			2				
ライノウイルス							1	
ロタウイルス(A群)	1							1
アデノウイルス		2	2					

\*無菌性髄膜炎の患者報告数は定点報告であるため、記載していない



総合トップ

くらし・環境

健康・福祉

しごと・産業

文化・教育

県政情報・統計

総合トップ > 健康・福祉 > 感染症 > 感染症情報センター > 感染症の流行情報 > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2017年 > 感染症の流行状況 2017年 第38週

## 感染症発生動向調査 2017年

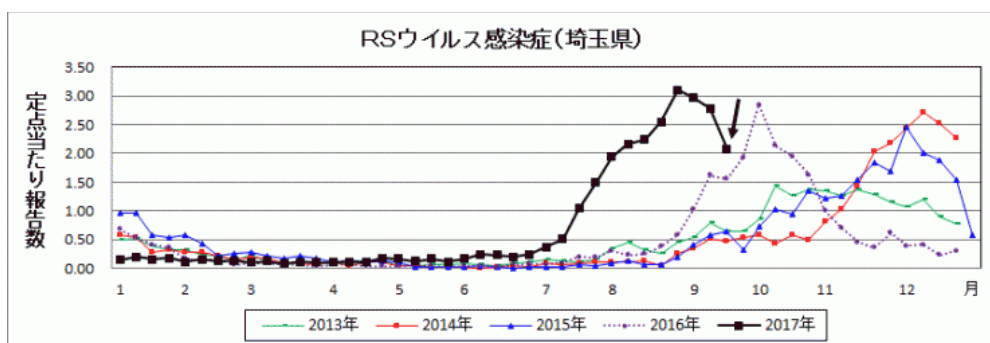
- [感染症の流行状況 2017年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第13週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第14週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第15週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第16週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第17週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第18週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第19週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第20週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第21週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第22週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第23週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第24週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第25週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第26週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第27週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第28週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第29週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第30週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第31週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第32週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第33週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第34週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第35週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第36週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第37週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第38週](#)

## 感染症の流行状況 2017年 第38週

2017年第38週（平成29年9月18日～9月24日）の要点 平成29年9月27日

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は、前週より大きく減少しましたが、依然高い水準となっています。外出後の手洗い・うがいととも、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹に関する情報の掲載ページへ](#)
- [風しんに関する情報の掲載ページへ](#)



### 感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	→	★	<a href="#">伝染性紅斑(りんご病)</a>	↓	★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	↓	★★★	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱(プール熱)</a>	→	★★	<a href="#">百日咳</a>	→	★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	→	★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	↓	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	↓	★	<a href="#">流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)</a>	→	★
<a href="#">水痘(みずぼうそう)</a>	→	★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	→	★
<a href="#">手足口病</a>	↓	★★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	→	★★★

\*1. 推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2. 推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) \*3. 流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン